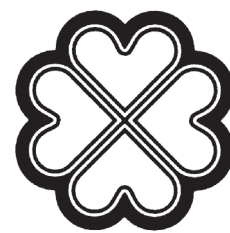


日本レディースバドミントン連盟だより



Vol.16

J.L.B.F.

会長就任あいさつ

会長 村井 広美



このたび、藤田庸右会長のご退任により、日本レディースバドミントン連盟会長の職に就任することになりました村井広美でございます。微力ではございますが連盟を代表する立場として職名に恥じぬよう全力を尽くす所存でございますので、皆様方にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

先ずは、何を置きましても、藤田会長には副会長職を含めて16年間の長きに亘る年月を本連盟発展のためにご尽力いただきましたことに心より御礼を申し上げます。本連盟が日本バドミントン協会のみならず世界バドミントン連盟(BWF)にも認識される団体へと成長を遂げることでできたことは、藤田会長の多大なお力添えの賜物と深く感謝いたしております。藤田会長には、今後も名誉会長にご就任いただき大所高所からお見守りいただきながらご指導を賜りたいと存じます。加えまして、20年以上の長きに亘り副会長としてご指導・ご尽力をいただきました木本、浅岡両副会長にも心から感謝しお礼を申し上げますとともに、今後引き続き本連盟をご支援ご指導いただければ幸甚に存じます。

本連盟は1983年に日本家庭婦人バドミントン連盟として設立され、同年8

月、23都道府県の参加を得て第1回都道府県対抗団体戦を開催、翌年にはクラブ対抗団体戦(未経験者)も始まり二つの団体戦を主催することから本格的に事業がスタートいたしました。その後は全国各地にもレディースバドミントン連盟が発足し、順調に大会参加数が増加するとともに加盟団体の増加も得ることができました。私は、2000年に理事長に就任いたしました。同年現在の日本レディースバドミントン連盟へと改称したことで、全ての女性を対象としたレディース・ファーストの組織づくりの先駆けになったと自負いたしております。

設立から34年が経過した現在、連盟は発足当時(旧日本家庭婦人連盟)加盟24都道府県、会員数260クラブという登録数から、昨年12月末には1,423クラブ、会員数20,125名を数えるまでの大きな組織へと成長して参りました。私は、連盟発足当初は副理事長として関わって参りましたが、当時を思い起こせば本連盟の発展と変革は目覚ましく、まるで夢を見ているかのような感覚を覚えます。

しかしながら、本連盟にはまだまだ課題が山積しております。登録者数が増加しているとは言え、女性のバドミントン人口から考えると決して満足出来る数字ではありません。会員確保に向けた取り組みが必要不可欠であると考えます。また、当連盟が主催しております国際親善大会に於きましても、国際交流を活発に行い、海外有力選手の大会参加数を更に増やすことも目標であると考えております。今後も連盟役員が一丸となり、最善策が見出せるよう真摯に取り組んで参りたいと思っております。

昨年は、リオデジャネイロオリンピックでの日本代表選手の活躍がめざましく、バドミントンに対する日本国民の関心も大いに高まっております。その一角を支えるレディースの分野においても好影響を受け、一般家庭からの関心や問い合わせもますます増加している良い波及効果のもと、レディースの方々のモチベーションも大いに高まっていることと思っております。このような機に、会長という重責を担うことに一抹の不安とともに身が引き締まる思いをいたしておりますが、全力を尽くして職務を果たす所存でございますので、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

平成29・30年度役員

名誉会長	藤田 庸右
特別顧問	浅岡 武
会長	村井 広美
副会長	天野 博江
理事長	民谷千寿子
副理事長	佐野 玲子
副理事長	小国 久美
副理事長	三富 久子

右記 役員選考委員会にて推挙され、平成29年度総会において推戴される。

第34回全日レディースバドミントン選手権大会

高知県レディースバドミントン連盟

理事長 氏原 有子



第34回全日本レディースバドミントン選手権大会を平成28年7月28日(木)～7月31日(日)高知県立県民体育館と南国市立スポーツセンターにおいて、都道府県対抗41チーム、クラブ対抗51チーム、総勢873名の選手の皆さんをお迎えして開催いたしました。

高知県での全日本レディースバドミントン大会の開催は初めてのことであり、又私自身理事長就任直後であり不安と、その責任が全う出来るかの毎日でありました。

高知県は大きな体育施設が無く、会場が2会場となり、費用もスタッフも倍の準備がかかることとなりました。一年前より実行委員会を立ち上げ万全を期す取り組みをいたしました。その間、日本レディース連盟の役員の皆様方の細に渡るご指導とご助言を頂きました事は大きなお力添えでありました。又県協会の皆様方にもご協力を頂き富山県への視察研修

等一緒に勉強もさせて頂き大会本番への大きな助けとなりました。

総務部会、実行委員会は数限りない会合を重ね、決定事項等を積み上げ、7月には協会の方を招き、役員・審判・スタッフ全体での説明会、注意事項等の細かい打合せ等を幾度となし行い本番に備えたところです。

四国での強化練習もして頂き、都道府県対抗試合ではブロック1位で決勝トーナメントに進むことが出来ました。トーナメントでは優勝した愛知県とあたり敗れましたが5位に入ることが出来嬉しい思い出となり、四国が一丸となって取り組んだことに感謝をいたしております。

クラブ対抗では良い結果とならず残念でしたが、選手の皆さんからは「楽しかった」「次も出場したい」そんな嬉しい声が届きました。

第1日、第2日はスムーズな運営が出来ましたが第3日決勝戦には多くの応援の方がお見えになり駐車場の対応に大変なご迷惑をおかけをしました。

結びに、この度の大会が大きな問題も無く終えましたのは、日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟並びに特別協賛を頂きましたヨネックス株式会社様をはじめ各協賛会社の皆様方の格別のご協力ご支援を頂きました賜物であり心からのお礼を申し上げます。



決勝戦



選手以上に熱くなる応援団

応援団のコメント

仲間の活躍を間近で見ることが出来て応援にも熱が入り、一緒に戦えたような充実感がありました。選手の皆様、お疲れ様でした。



スタッフの皆様

会 期
場 日

平成28年7月28日～31日

高知県立県民体育館
南国市立スポーツセンター

クラブ対抗



★優勝★ あいCLUB

昨年の大会では悔しい結果に終わったので、この一年思いっきり練習してきました。そして今日この日に結果を出せたことを嬉しく思っています。これを機に新たな気持ちで益々頑張っていきたいと思ひます。



★準優勝★ 鴨谷クラブ

3回目の全国大会で決勝戦に出れました。優勝は逃しましたが、この大会で得たものはたくさんあります。監督、コーチ、選手全員が成長できた3日間でした。この経験を活かして、次回は全国制覇を目指します。



★3位★ F.M.C

この大きな舞台で力を合わせ3位という結果を頂き、本当に嬉しいです。今までF.M.Cを支えてくださった連盟の方々、チームの仲間、家族に心から感謝の気持ちでいっぱいです。こんなに皆の気持ちをひとつにしてくれるバドミントンの力に今更ながら驚いています。これから又優勝という目標に向かってチーム一丸となって日々努力してまいります。



★3位★ WHIP

予選リーグの組合せをネットでみて最下位を覚悟してきました。お笑い軍団の選手達ですが、試合を重ねていくうちにもう一試合できるかもという気持ちが強くなったようで頑張ってくれました。ただここまでこれたのは奇跡だと思っています。スタッフの皆様ありがとうございました。

都道府県対抗



★優勝★ 愛知県

今回リーグ戦で苦しい想いをし、昨年と同じ決勝に進出！強敵福岡県に勝ち、選手の日頃の練習の成果が実ったと思います。愛知県選手と応援団のまことに感謝致します。



★準優勝★ 福岡県

チームワークで勝ち抜いてきた選手たちに感謝です。あと一歩のところまでつまずいてしまい残念です。来年はまた一から出直して良いチームになるよう頑張っていきたいと思ひます。ベスト4をねらっていたので上出来でした。



★3位★ 東京

ベスト4への振り返り嬉しかったですが初戦から苦しい試合でした。フィジカルもスキルも時間をかけ強化しましたが、敵は背中に背負った東京の誇り。背中の重さはメンタル強化で出直します。



★3位★ 大阪

今年もあと一歩のところまで決勝進出が叶いませんでした。年々レベルがあがる中、苦戦の連続でしたがチームワークでここまで戦えた事、誇りに思ひます。来年また一からチャレンジします。

YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2016

Date : Wednesday Oct.26 - Sunday Oct.30 OSAKA, JAPAN

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2016



大阪府レディースバドミントン連盟
理事長 廣瀬 園子

年を経るごとに参加者が増え、本年は国内国外から1,745名という選手をお迎えいたしました。海外からは28チーム、勿論創設以来最高となる207名の参加があり、各チームとも海外選手との対戦や交流の機会も増え、国際大会らしい様相が顕著となりました。

香港から16チームという参加には驚き、正直あわてました。インバウンドの影響もあり、この事態は予測していませんでしたが、香港という狭い地域の中で何をもちてこの人気となったのか、まず状況を探ることから始めました。近い国日本への興味と憧れ、団体戦という大会の面白さとレベルの高さ、台北モーニングカップなどの海外大会を通じてのネットワーク、結果として実感したのはやはり大会への関心の高さでした。見るからに粒より選手を揃えウエアを揃え意欲満々、来年もリベンジに来るという便りがすでに届いています。

ブルネイからは初めての参加をいただきました。日本にとつても興味と憧れの国からの参加は異体験でした。穏やかにフレンドリーな選手達に、国間の垣根はないと実感しました。台風で空港が封鎖された中で、何とかベトナムからも来日していただきました。しかし創設以来欠かさず参加いただいた韓国からは不参加であったことは残念でした。国情が風雲急を告げる中で、どのように収まるのか心配です。このようにどの国も身近になり、近隣のアジアの一つであることを実感するこの頃です。大阪で誕生したこの大会を、主管理地大阪として精一杯守り育てて来ましたが、

し一都道府県としての活動範囲と認知度はおのずと制約があります。日本レディースバドミントン連盟への移管により確実に大会は世界へ広がりました。さらに公益財団法人日本バドミントン協会の深いご理解とご協力を得、冠協賛をいただくYONEX株式会社のご支援をいただき、世界に類を見ない女性による女性のためのこの大会は、全アジアを中心にアメリカ大陸、ヨーロッパ大陸を目指しています。ただ一方で、全国くまなく参加者を増やすという日本レディースバドミントン連盟の目標は未だ達成されていません。国内参加あつての国際大会です。さらに連盟員の皆様のご理解とお力をいただき、全国から広くご参加いただき、国内国外を通じて楽しい大会として参加選手の記憶に深く残るような大会運営を目指したいと思っております。

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震に鳥取県地震など、多くのつらい震災も経験してまいりました。被災された連盟員の方々も少なくありません。今年度は熊本地震支援物産展を通じて災害地を支援するムーブメントを企画しました。来年は広範囲の物産展などを通じ、大会参加への感謝の気持ちを少しでも表したいと考えています。地域に根差した気持ちを忘れず、皆様の大会として大切にはぐくんでいくことが私達の願いです。最後に、国際大会2016へご参加いただきました選手の皆様ありがとうございました。そして応援をいただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。



岩城ハルミ氏バドミントンクリニック



交流室にて



レセプション

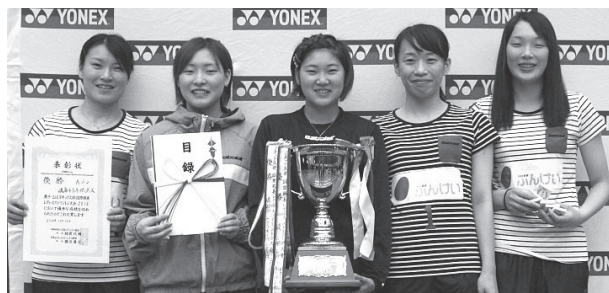


熊本県物産展にゆるキャラ集結





Dゾーン優勝 泉ヶ丘A (大阪府)



Aゾーン優勝 岐阜トリッキーパンダース(岐阜県)



Eゾーン優勝 Friend's Club B (HKG)



Aゾーン準優勝 YONEX MULAN (CHN)



Fゾーン優勝 千葉A (千葉県)



Aゾーン3位 京都学連選抜 (京都府)



Gゾーン優勝 きらり東京 (東京都)



Bゾーン優勝 Chinese Taipei A (TPE)



Hゾーン優勝 フラワーズ (東京都)



Cゾーン優勝 バーバママ (香川県)

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2016

Ladies Japan メンバー



メンバー紹介（写真左から選手名、都道府県）
 濱上由紀（大阪府） 御前美希（大阪府） 宮崎友望（徳島県）
 小見山咲枝（東京都） 秋元直美（東京都） 石田沙希（京都府）
 松本憧（徳島県） 小国久美監督（京都府）

監督 小国 久美

今回は、急遽監督を引き受けることとなり少々バタバタしましたが、若い力で頑張って頂き無事予選リーグを突破することが出来ました。

「個人戦に出てLadies Japanのチームに選ばれる事が目標だったんです」という言葉を聞き大変嬉しく思いました。

知らないペア同士がチームを組み試合をするたびに絆が深まっていく感覚を、これから出場して頂くペアにも是非経験して行ってもらいたいものだと思います。

Ladies Japan コメント

今大会に出場させて頂いて、海外チームや実業団の選手の素晴らしいプレーに刺激を受けました。これからも練習を重ねて技術を身につけて行きたいです。次回出場する機会があればまた挑戦したいと思います。

海外大会参加報告

◆2016第45回届世界清晨盃文達紀念盃羽球錦標賽大会参加報告

日本レディースバドミントン連盟 大会事業本部 国際部 百野 郁子

2016年4月8日(金)～10日(日) 中華民国台北市 小巨蛋(ドム) 役員2名派遣

この大会は、中国本土からの400名に加え海外からも1,300余名、15か国より1,880名が参加する国内外での人気の高さが伺える大会です。国際親善大会に参加して下さる選手も多く、今年も参加をお願いするとともに、新たな参加者を開拓するために積極的に友好を深めました。

昨年11月、大会会長呉俊彦氏の御尊父であり名誉会長を務められていた呉文達氏が逝去されましたので、今年の大会名には「呉文達紀念盃」というタイトルが加えられていました。

また、長年秘書長として活躍され、国際親善大会に毎年台湾チームを率いて来られる頼聯旺氏が米寿を迎えられま

したので、お祝いしたいと申し出たところ、レセプション会場でお祝いの品をお渡しする機会を与えて頂き、私たちの気持ちを大変喜んで頂くことが出来ました。

フェアウェルパーティーでは、「ハッピーバースデー」の音楽が流れ、参与の竹内ヒロ子氏の80歳の誕生日を会場みんなで祝って頂くなど、婦女隊一行も手厚くおもてなし頂きました。これも長年に亘りこの大会に参加し友好を深めてきたことが大きく花を咲かせているものと大変嬉しく思います。今年の国際親善大会に向け、気持ちも新たに帰国致しました。



フェアウェルパーティー



呉俊彦会長・頼秘書長とともに

第1回日レ塾 “チャレンジアップ大会”

日本レディースバドミントン連盟 普及開発本部・地区部長 岡田 竹美

第1回日レ塾“チャレンジアップ大会”を、平成28年9月3日～4日に亘り広島県広島サンプラザにおいて、全国31都道府県から45チーム329名の参加を得て開催致しました。

この大会は普及開発事業として、普及開発本部役員が企画から運営まで全てを行う初めての事業でした。開催するにあたっては賛否両論がありましたが、登録会員の高齢化が顕著となり、若い世代の会員確保と競技力の向上にも繋がる必要且つ重要な事業であることから、役員・評議員の皆様には2年の歳月をかけてご理解を頂きました。更に準備期間に2年を費やし、第1回の日レ塾は全日本クラブ対抗団体戦出場資格を有する方を対象として実施することになりました。

参加枠が各県1チームとはいえ県によって状況は様々です。すぐに出場チームが決まる県があればどうしてもチームが作れない県もあり、選手が不足するチームには登録の多い県やブロック内での補充をしたり、また近県混成での編成をしたり等々…何とか目標の45チームが出揃いましたので、各5チームでのリーグ戦を実施することが出来ました。

運営に当たった地区部員は、それぞれの所在が広く全国にわたっているため事前準備がパソコンでのやり取りに頼らざるを得ず、連絡不足や確認不足が生じてしまい意識統一を図ることの難しさを痛感いたしました。しかしながら、大会当日の運営は経験豊富な各県理事長ばかりですので、競技進行はスムーズで流石であったと思います。また、運営協力スタッフとして地元の役員の皆様には大会全般にわたって細かいお心遣いを頂き、中学生の皆さんには審判・得点係りとしてお手伝い頂いたことに心より感謝しております。

参加選手の感想に「体育館が暑かった。参加料が上がっても良いので次回はエアコンを入れて欲しい。」「開会式を早くして、終了時刻が遅くならないようにして欲しい」などの指摘や「今後に向けて練習する気が湧いた。」「この大会に参加出来て楽しかった。」等々、今後の大会継続を

望む声が多数上がっており、準備に奔走した日々が報われたようで大変嬉しく思っております。

普及開発本部初の事業成果としては、参加者に開催趣旨と日本レディース連盟の登録実態をお伝えすることが出来たことで、会員確保に向けた取り組み等を各クラブにおいても実践して頂けるものと期待できること、そして役員相互のコミュニケーションが深まったことで一体感が強まり、今後の連盟活動への協力体制が構築できたことにあると思います。

本事業の今後については2年後の開催を予定しておりますので、内容についての検討を重ね、会員の皆様にご満足頂けるように準備を進めて行きたいと考えております。

最後になりましたが、開催に際しましてご協力頂きました広島県レディース連盟役員の皆様、国泰寺中学校バドミントン部の皆様にお礼を申し上げるとともに特別協賛を頂きました株式会社ゴーセンを始め協賛メーカー各社並びに関係の皆様には、日本レディース連盟の新規事業に対し深いご理解と温かいご支援を頂いたことに深謝申し上げます。



第1回日レ塾 チャレンジアップ大会
◀開会式



▼閉会式



大会役員・協力スタッフ



大会風景

第11回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)

千葉県レディースバドミントン連盟

理事長 吉田 千代子



平成28年12月9日(金)～11日の3日間に亘り、千葉ポートアリーナ、船橋市総合体育館、浦安市運動公園総合体育館、千葉県総合スポーツセンター体育館の4会場に於いて、43都道府県から1,056名の選手を迎え標記大会を無事終了いたしました。本県での全国大会開催は2000年夏の全日本レディースバドミントン選手権大会(都道府県対抗・クラブ対抗)に続き2回目になります。

今大会は、千葉県レディースの総力を結集しての大会運営を目指して準備にあたりました。滋賀大会、鳥取大会の視察に始まり、また会場では細かい質問にも丁寧にお答えいただきとても勉強になりました。更には、大会終了時には物品も譲り受け大変助かりました。

大会運営資金の確保には数年前から素麵等の販売をし、プログラム広告協賛では、各クラブのみならず個人や知人の方々にも多数協賛を募り、ご協力いただきましたことで資金面を支えていただきました。

運営スタッフ、審判員の育成にも時間をかけ、4会場での開催のために述べ450名あまりの運営スタッフ並びに審判員のみなさんが適材適所で能力を發揮

して大会運営に携わっていただきました。参加の皆様からは「どの会場もスムーズな運営だった」と言っていただけたことはとても嬉しく安堵いたしました。その中で「船橋会場のアクセスが分りにくかった」との声も聞かれましたので、こちらも懸念していた箇所だっただけに配慮が行き届かなかったことを大変申し訳なく思っております。

この大会開催を通して学び得たものは、今後の千葉県レディースの礎と絆をより確かなものにしてくれるものと思えます。

最後になりましたが、開催に際しましては公益財団法人日本バドミントン協会、特別協賛のミズノ株式会社をはじめ協賛各社、ご後援いただいた朝日新聞社ほか関係の皆様には大変お世話になりました。ここに厚くお礼を申し上げます。そして、日本レディース連盟の役員の皆様には、大会開催前から終了後にまで多岐にわたるご指導を賜りありがとうございました。

全国から参加して下さった選手の皆様にも心より感謝しております。ありがとうございました。

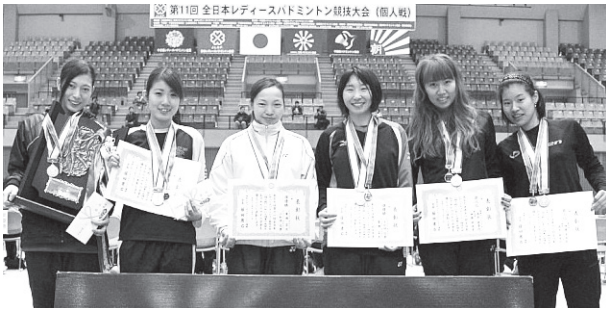


大会風景

会期
場日

平成28年12月9日～11日
千葉ポートアリーナ 船橋市総合体育館
浦安市運動公園総合体育館
千葉県総合スポーツセンター体育館

1部入賞者



1部優勝：稲川恵里奈・水野 愛実(岐阜県)

「春からこの大会で優勝する事を目標に練習をしてきて、その成果を出し切ることができて本当に良かったとホッとしています。優勝出来て本当に良かったです！」

1部準優勝：小松崎悠貴・廣瀬 菜月(茨城県)

1部第三位：高井亜季代・伊藤早央吏(愛知県)



スタッフの皆様



開会式

2部入賞者



Aブロック

- 優勝：林 恵未
麻生 祐花 (福岡県)
- 準優勝：谷村 麻美
鎌田佐耶果 (愛知県)
- 3位：御前 美希
森田 智子 (大阪府)



Bブロック

- 優勝：関根 尚子
野村 明子 (千葉県)
- 準優勝：阿部なる美
遊佐 恵美 (神奈川県)
- 3位：飯高麻紀子
池田 恵美 (千葉県)



Cブロック

- 優勝：物井あゆみ
中津 位江 (神奈川県)
- 準優勝：石井 朋子
石井 千春 (千葉県)
- 3位：石橋 律子
今井早由里 (東京都)



Dブロック

- 優勝：森 知美
羽生 美恵 (茨城県)
- 準優勝：本沢有美子
渡辺 浩子 (神奈川県)
- 3位：稲葉 明希
高科 庸子 (神奈川県)



Eブロック

- 優勝：高垣 尚美
大東恵里子 (兵庫県)
- 準優勝：工藤なおみ
小堂 順子 (東京都)
- 3位：小原 真澄
佐藤 忍 (宮城県)



Fブロック

- 優勝：門間由美子
間瀬 孝子 (愛知県)
- 準優勝：新田 豊子
北条 珠実 (香川県)
- 3位：山本 邦子
児玉 幸代 (奈良県)



Gブロック

- 優勝：梯 栄子
市田 礼子 (東京都)
- 準優勝：佐藤 和美
米沢千江美 (千葉県)
- 3位：伊嶋 恵子
河野 昌子 (千葉県)



Hブロック

- 優勝：松本美津江
内野とし子 (埼玉県)
- 準優勝：米口 順子
宮本 容子 (東京都)
- 3位：田代千知子
池原 志子 (神奈川県)



Iブロック

- 優勝：土庵 清子 (奈良県)
石井 伸子 (山口県)
- 準優勝：村山 陽子 (埼玉県)
鈴木 和枝 (千葉県)
- 3位：藤原 三和 (神奈川県)
宇野 早苗 (神奈川県)

平成29年度

日本レディース連盟大会日程表

第35回 全日本レディースバドミントン選手権大会 (都道府県対抗) (クラブ対抗) (案)		第12回 全日本レディースバドミントン競技大会 (個人戦) (案)	
期 日	平成29年 7月20日(木)～23日(日)	期 日	平成29年 12月8日(金)～10日(日)
会 場	このはなアリーナ(静岡市)	会 場	カメイアリーナ(仙台市体育館) 宮城野体育館・青葉体育館
監督会議	7月20日(木) 15:00～	代表者会議	12月8日(金) 16:00～
開 会 式	7月20日(木) 16:00～	開 会 式	12月8日(金) 17:00～
競 技	7月21日(金) 9:00～ 22日(土) 9:00～ 23日(日) 9:00～	競 技	12月9日(土) 9:00～ 10日(日) 9:00～
閉 会 式	23日(日) 競技終了後	閉 会 式	10日(日) 競技終了後

ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2017 (案)			
期 日	平成29年10月25日(水)～29日(日)	競 技	10月26日(木) 9:20～ 27日(金) 9:20～ 28日(土) 9:20～ 29日(日) 9:20～
会 場	エディオンアリーナ大阪第1・第2競技場 大阪市立浪速スポーツセンター	閉 会 式	29日(日) 競技終了後
監督会議	10月25日(水) 16:30～ 道頓堀ホテル		
開 会 式	10月25日(水) 17:10～		

オープン大会日程表

開催日	大会名	開催地	会 場
6月3日(土)	第14回 ふじやまオープン レディースバドミントン大会(個人戦)	静岡県	富士宮市民体育館
6月6日(火)	第15回 よさこいそ～らん オープンバドミントン大会(個人戦)	北海道	北海道立総合体育センター サブ体育館(きたえーる)
6月8日(木)・9日(金)	第24回 福島オープン レディースバドミントン大会(個人戦)	福島県	白河市国体記念体育館
6月15日(木)～17日(土)	第44回 京都オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	京都府	島津アリーナ(府立体育館)
6月24日(土)	第13回 福井県レディース オープンバドミントン大会(個人戦)	福井県	敦賀市総合運動公園
7月17日(月・祝)	第7回 神話の国縁結びオープン大会(団体戦)	島根県	島根県立浜山公園体育館 カミアリーナ
9月16日(土)	第29回 輝レディース オープン大会in山口(団体戦)	山口県	維新百年記念公園 スポーツ文化センター
9月18日(月・祝)	第10回 やまびこレディースオープン大会(個人戦)	長野県	信州スカイパーク 松本市広域公園体育館
9月25日(月)・26日(火)	第30回 奈良オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	奈良県	ならでんアリーナ(奈良市中央体育館)
9月29日(金)	第32回 広島レディース オープンバドミントン大会(個人戦)	広島県	広島サンプラザ
10月11日(水)・12日(木)	第12回 マザーレイクフェスティバル大会(団体戦)	滋賀県	野洲市総合体育館
10月11日(水)・12日(木)	第15回 大江戸オープン大会(個人戦)	東京都	東京体育館
11月3日(金・祝)	第9回 よさこいレディース オープンバドミントン大会(団体戦)	高知県	春野運動公園
11月8日(水)	第27回 茨城県レディース バドミントン連盟ひばりの会(個人戦)	茨城県	取手市 グリーンスポーツセンター体育館
12月14日(木)・15日(金)	第12回 兵庫オープンレディースバドミントン大会 すみれオープン(団体戦)	兵庫県	宝塚市立総合体育館
平成30年 1月21日(日)	第14回 湯けむりレディース バドミントンオープン大会(団体戦)	大分県	別府市総合体育館(べっぷアリーナ)
1月22日(月)・23日(火) 29日(月)～31日(水)	第9回 愛知オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	愛知県	日本ガイシスポーツプラザ第2競技場
2月10日(土)	第2回 京都オープン年齢別個人戦	京都府	向日市立総合体育館
2月23日(金)	第44回 長崎レディース バドミントンオープン大会(団体戦)	長崎県	長崎県立総合体育館
2月24日(土)・25日(日)	第4回 和歌山オープン レディースバドミントン大会(団体戦)	和歌山県	和歌山県立体育館
3月7日(水)・8日(木)	第22回 千葉・菜の花オープン バドミントン大会(個人戦)	千葉県	ちばポートアリーナ
3月11日(日)	第13回 徳島県レディース 阿波踊りオープンバドミントン大会(団体戦)	徳島県	徳島市立体育館



北海道ブロック 常任理事
北海道 永井 恭子

北海道ブロックでは、平成28年9月24日・25日、釧路市に於いて第45回北海道レディース競技大会が開催されました。

8月に猛威を振るった台風により、国道が寸断され列車も運休が続き開催が危ぶまれましたが、地元の方々の協力と無事終了する事が出来ました。この大会は、全道12地区が持ち回りで毎年夏から秋に開催され、会員の皆さんの楽しみな交流の場として歴史のある大会となっております。しかしながら、数年前から参加者が減り、更に開催地が遠方となるとなおさらです。広い北海道ゆえ、開催場所・時期、種目の見直しなど、如何にして参加者を増やしていくかが今後の課題です。

最後に、平成24年度から27年度まで、北海道レディース連盟の理事長を務められました渡辺由美子さんが、昨年12月24日にご逝去されました。平成24年4月から3代目の理事長に就任され、その年の8月には第30回全日本レディース選手権大会が開催されました。渡辺理事長の指揮のもと8月に開催されました第30回全日本レディース選手権大会では、分からないことだらけの私達でしたが、大会を成功させるため無我夢中で取り組んできた事を思い出されます。余りにも早い旅立ちで残念でなりません。



平成34年には、北海道で4回目の全国大会が開催されます。役員一同しっかりと渡辺さんの意志を継いで、頑張ってくださいますのでよろしくお願い致します。

東北ブロック 新理事
青森県 小野 むつ子

平成28年10月22日・23日青森県におきまして第23回東北地区レディースバドミントン大会を開催しました。天候にも恵まれ、大会当日は、東北6県の選手、監督、役員、応援団の方々が、元気な顔で来られました。東北6県での持ち回りの大会を理事長になって初めての大会でも有りましたが、2日間に亘り怪我人も出ず無事に終えることが出来ました。ご協力して頂いた役員の方々には、心より感謝申し上げます。

開会式、懇親会では、ねぶた囃子で選手の方々と飛び跳ねたり、津軽三味線の弾き語りや歌も披露して貰い皆さん喜んで貰いました。試合当日では、青森県名産、もぎたてのりんご、手作りの漬物、役員の方々の温かい計らいも有り、見えない所での思いやりに感謝しています。

今後の課題は、どの様にしたら登録者、試合参加者、全国大会の参加者を増やせ

るかと言う事です。
東北6県のレディースバドミントンの普及活動を進め、今年12月東北宮城県で、開催される第12回全日本レディース競技大会（個人戦）も無事に成功出来る事を願っております。皆さんのご参加をお待ちしています。

関東ブロック 旧評議員
群馬県 堀米 喜美子

平成28年度関東ブロックでは、春季と秋季の関東レディースクラブ対抗戦を一部七県の持ち回りで行い、今年は群馬県が当番県となり、第6回春季大会を、5月29日ALSO Kぐんまアリーナで24チーム250名、第11回秋季大会を、11月17日伊勢崎市民体育館で24チーム258名にて開催しました。

若い世代のパワーと熟年パワーとのチーム力で白熱した試合でした。強豪なチームは、監督以下12名を揃えて参加し、リーグ内同率のブロックが出るほどの熱戦を繰り広げ、トーナメント戦を盛り上げて下さいました。

又、春季・秋季大会ともそれぞれ選手参加資格制限はありますが、皆が楽しく親睦を深めて出場できる大会となっております。

関東レディース役員皆様と群馬県レディース会員との協力で、無事終了出来ました。

この大会運営の経験を生かして、三年後の全国大会に向けて来年度より役員皆で会員の普及とバドミントンの発展に頑張っていきたいと思えます。

北信越ブロック 新理事
長野県 丸山 美代子

平成28年5月22日第33回北信越レディースクラブ対抗バドミントン大会が、長野運動公園総合体育館で開催されました。昨年までは、松本市で開催していましたが、北陸新幹線の開通も有り、思い切って長野市での開催にしました。その結果、県内はもとより県外の方の沢山の参加により49チーム320名の熱戦が繰り広げられました。

理事になってから、初めての大きな大会で、準備も大変でしたが、皆様のご協力により、盛大かつ成功に終わる事が出来ました。今までにない何か特徴のある大会にしたかったので、初めての試みで長野県鍼灸師会の先生にお願いして、針・テーピングの無料コーナーを設けました。熱戦で傷ついた筋肉・筋を癒してもらおうと、診察に来た方は300名ほどのほり、中には複数回見えた方もいたそう、鍼灸医は大盛況でした。

これからも、何か考えて皆様バドミントンに参加したくなる様に、工夫した大会にしていきたいと思います。

東海ブロック 旧理事
愛知県 堀尾 恵美子

平成28年度全日本レディース選手権大会・ヨネックス杯国際親善大会2016・全日本レディース競技大会が無事終了いたしました。第一回日レ塾「チャレンジアツプ大会」も広島県にて開催され、出場した選手達が全日本レディース選手権大会

「クラブ対抗」を目指して日々精進することを願っています。開催県及び協力していただいた県の皆様方に御礼申し上げます。

東海ブロック活動としては、5月「団体戦」と総会、12月「個人戦」と理事長会を静岡県で開催致しました。平成29年度全日本レディース選手権大会が静岡県で開催される為、プレ大会として「団体戦」を例年より参加数を多くし、7月に向けて準備しています。

また、28年度全日本レディース選手権大会「都道府県対抗」で愛知県が優勝、競技大会(個人戦)1部で岐阜県ペアが優勝し、若手の加入が困難な昨今、少しづつ東海ブロックに活気が出てきたと思っております。

平成29年7月開催の全日本レディース選手権大会は「日本の富士山」を觀に静岡県にお越しくださいませ。お待ちしております。

近畿ブロック 旧常任理事
京都府 小国 久美

平成28年度近畿ブロックでは、総会・4回の理事会を行い、競技では未経験者対象の競技大会を6月に、選手権大会を29年3月に今年度当番県の大阪府で開催しました。何れも各府県予選会を勝ち抜いてきたチームの戦いで近畿のトップが集まった試合の為、熱戦が繰り広げられました。

平成30年に全国大会(団体戦)を京都で開催します。あと一年と迫り全国から来られる皆様を「おもてなしの心」でお迎えしたいと準備に入ったところです。又、平成32年には全国大会(個人戦)が和歌山県で開催されます。『近畿は一

つ」のスローガンの元、近畿全体で盛り上げていきたいと思っております。

中国ブロック 評議員
山口県 清水 世津子

中国ブロックでは、毎年5月に中国地区レディースバドミントン選手権大会を行っております。平成28年は、岡山県のきびアリーナで開催しました。団体戦は12チームで行いました。個人戦は、今年から65才以上の部も新設され選手の皆様のパワーで熱戦が繰り広げられ、とても盛り上がりました。

9月には、日レ塾 チャレンジアップ大会が広島県で開催され、中国ブロックだったので山口県は2チーム参加させていただきました。参加したチームには、とても楽しかったし、いろいろな刺激になり勉強になりましたと感想いただきました。

11月には、中国地区の親陸大会を鳥取県立米子産業体育館で行いました。県や年齢を超えて試合や交流をしました。時間が足りないくらい盛り上がり、選手の皆様には、とても喜んでいただきました。山口県では、平成30年にレディースバドミントン連盟を結成して30年になります。これもひとえに、皆様のご協力やご尽力のおかげであります。ありがとうございます。記念大会を企画しておりますので、よろしくお願い致します。

四国ブロック 理事
香川県 東条 美希

平成28年度四国ブロックでは、5月に

第32回四国レディースバドミントン大会を香川で開催しました。1〜5部のリーグでそれぞれ4、5試合を行い、白熱した試合と、4県の交流ができたと思います。平成28年度の全国大会が高知で開催されるにあたり、四国4県の強化のため、初めて合同練習を行いました。選手からは好評で、理事会で今後も続けていく方針となりました。選手の声を聞き、レベルアップ、バドミントンの普及に向け、四国の理事が一丸となつて頑張っていきたいと思っております。昨今ではいろいろなところで試合が行われております。より多く試合にでいただくこと、そして全国大会へ参加いただくことが目標です。

九州ブロック 旧評議員
宮崎県 田中 和子

平成28年10月8日・9日に第38回九州レディースバドミントン選手権大会を宮崎市総合体育館に於いて監督・選手総勢377名の参加を得て、開催いたしました。この大会は、各県持ち回り、今年には宮崎県の担当でした。

昨年より、65歳代の部が加わり、それぞれの年代に、各県よりたくさんの方を頂き、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。

大会は、県バドミントン協会、九州各県のレディース連盟のご協力のもとに無事に終了致しました。色々な方にご協力を頂き本当に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も各県協力して、この九州ブロックを盛り上げていけたらと思っております。尚、次回の大会は、熊本県で開催されます。

編集後記

本年より連盟だよりの編集を総務本部が担当しております。事務局を含め、本部員全員でデータ収集と原稿校正を重ねてこの16を作成しましたので、お楽しみ戴ければ幸いです。
(総務部長 佐野 玲子)



会議風景

発行
日本レディースバドミントン連盟
東京都新宿区新宿七丁目三三三
ストーク西新宿福星ビル四〇一
TEL 〇三三三三三三三三三三三三三
FAX 〇三三三三三三三三三三三三三
責任者 民谷 千寿子
編集 総務本部